

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
河合町	河合町立河合第二中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校が地域と連携を密にすることで、その構成員である生徒と地域の方々が繋がることをねらいとする。高齢化が課題となる本校校区西大和ニュータウンでは、若い人的資源が必要となることが考えられる。そのようなときに中学生がその中心的役割を自ら担うことができ、地域の方々も安心して頼ることができる。そのような地域に根差した生徒へと成長させたい。

2 特徴的な取組の概要

◎避難所体験

地域の避難所として位置づけられている本校の体育館において、災害時を想定して、地域住民や中学生が一泊して被災生活を模擬体験した。地域の方たちと生徒たちがコミュニケーションを深めるとともに、中学生にできる支援方法を学んだ。

地域自主防災会による『心肺蘇生法実技実習』、町安心安全課・PTA・ビューティフル会による『避難所運営ゲーム』の学習などを行った。また、地域ボランティアの方・PTAによる約180食分（夕食）の炊き出しなども行った。

◎校内美化活動

地域（ボランティア）の方たち、保護者とともに草むしりやペンキ塗りなどの作業を行い、校内の美化活動に汗を流してもらった。地域の方たちと生徒たちがコミュニケーションを深めるとともに、地域の方たちに地域の学校としての意識を高めてもらうことを目的として取り組んだ。

春・秋には校内の花の植え替え、夏には校内の除草作業・ペンキ塗り・ピータイル貼りなどに取り組んだ。

◎二中バザー

地域から提供していただいた物品を安価で販売するだけでなく、地域（ボランティア）やビューティフル会からも『お好み焼き』や『ポップコーン』などを出店してもらった。生徒もお店の運営に参加することで、地域の方たちと生徒たちがコミュニケーションを深めることを目的として取り組んだ。



心肺蘇生法実技実習



炊き出し（夕食準備）



花の植え替え



二中バザー